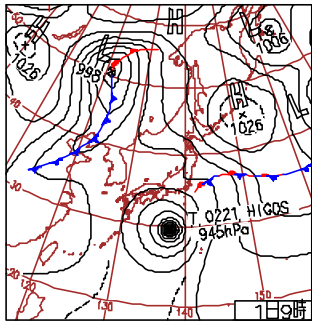


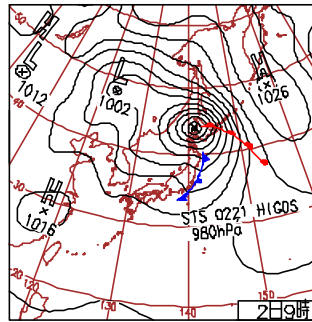
2002年 10月

- 1日～2日、台風第21号関東に上陸後、北日本を縦断。
- 6日～7日、低気圧や前線の通過により、各地で突風や竜巻が発生。
- 13日～14日、台風第22号日本の南東海上を北上、本州の太平洋側沿岸では、高波となる。
- 27日～29日、冬型の気圧配置強まる。

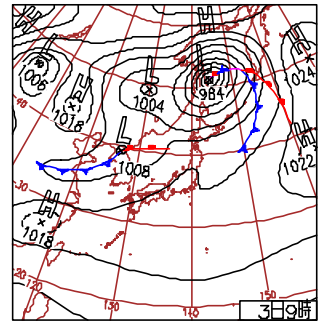
(気象庁予報部予報課)



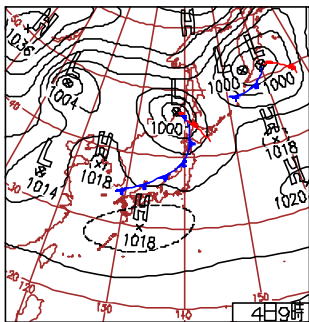
1日(火) 台風首都圏直撃
台風第21号は猛スピードで北上、夜神奈川県川崎市付近に上陸。死者・行方不明、家屋倒壊・浸水、停電などの被害。千葉県銚子市で52.2m/sの最大瞬間風速を記録、歴代1位。



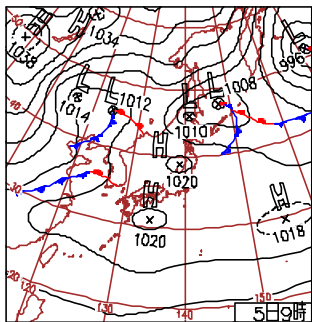
2日(水) 台風北日本を縦断
台風は最も速い時には時速85kmで東北地方太平洋側を北上。苫小牧市付近に再上陸し、日本海北部で温带低気圧に。通過後は全国的に晴れ、気温は9月上・中旬並みに上がる。



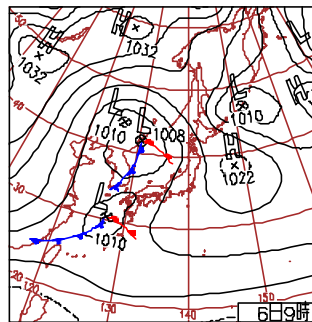
3日(木) 網走、気温の極値更新
全国的に気温は高く、沖縄、九州、中国地方の所々で真夏日。北海道網走市の最高気温は27.7度、平年より10.6度も高く、10月の最高気温の極値を112年ぶりに更新。



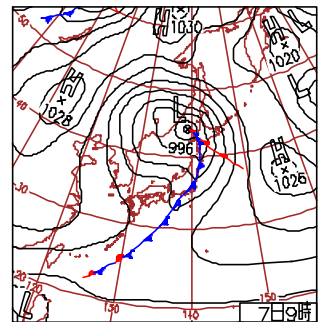
4日(金) 9月並みの高温続く
寒冷前線が日本海沿岸に延びる。日本海側は所々でにわか雨や雷雨。東日本を中心に太平洋側は晴れて、最高気温は平年より5前後高く、9月並みの高温となる。



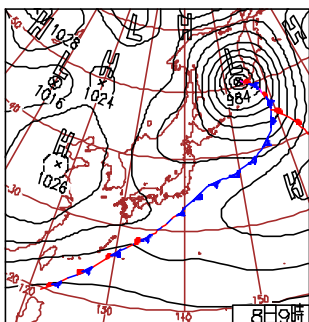
5日(土) 運動会日和
高気圧に覆われ、北海道を除いて全国的に晴れ、絶好の運動会日和。気温は引き続き高めで、関東は9月上～中旬並み。北海道は上空に寒気が入り所々で雨の変わり易い天気。



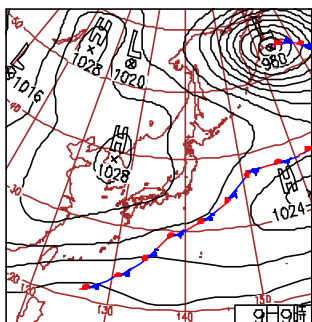
6日(日) 北海道と西日本で雨
日本海と九州の西に低気圧があり、沖縄を除き曇りや雨。暖湿気の流入で、九州の一部で発雷。鹿児島市や愛知県南知多町などで竜巻。静岡で平年より32日遅くすすき開花。



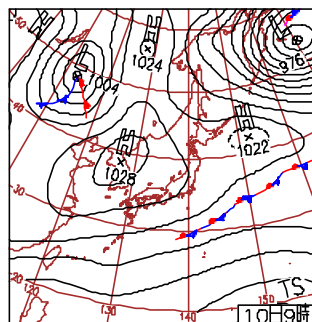
7日(月) 各地で強雨、強風
日本海の低気圧から延びる寒冷前線の通過により、各地で強雨と強風。静岡県土肥町で6時までの1時間に65mmの非常に激しい雨。神奈川県横須賀市、東京都大島町で竜巻発生。



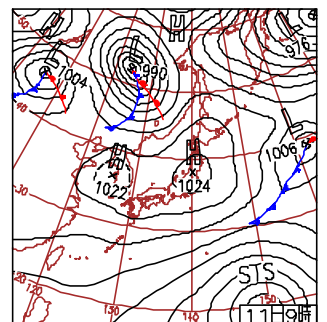
8日(火) 「不時現象」
前線が南海上に停滞、全国的に気温が低く曇りや雨。沖縄でも夏日が途切れ、久米島では昨日の南大東島に続き、ヒカンザクラの不時開花(平年と30日以上之差があるとき)。



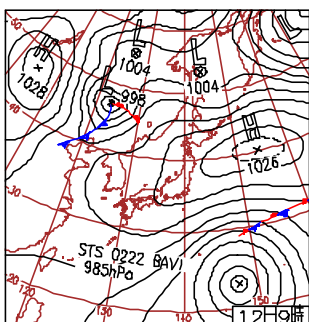
9日(水) 関東秋冷
関東南部は北東の気流で曇り空、10月下旬並の気温。他の地方は朝鮮半島に中心をもつ高気圧に覆われ概ね晴れたが、上空に強い寒気が入り、東・北日本の所々にわか雨。



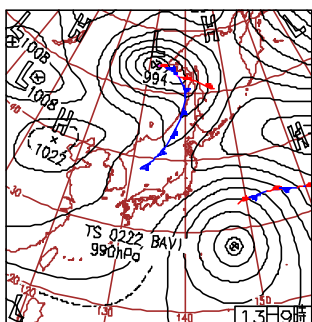
10日(木) 乗鞍岳初冠雪
日本付近は高気圧に覆われ、北海道・沖縄を除き全国的に晴れ、気温もほぼ平年並み。長野県松本や岐阜県高山から乗鞍岳の初冠雪を観測、平年より4～5日早い。



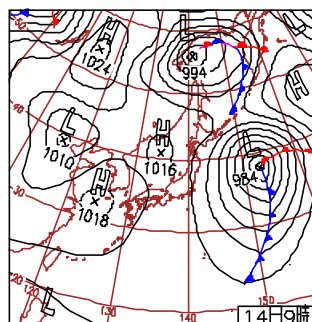
11日(金) 北日本で初霜、初冠雪
高気圧に覆われ全国的に晴れ。寒気と放射冷却で北日本など氷点下の冷え込み。帯広・苫小牧・倶知安で初霜、酒田では鳥海山の初冠雪を観測。長野県菅平で最低気温-2.8度。



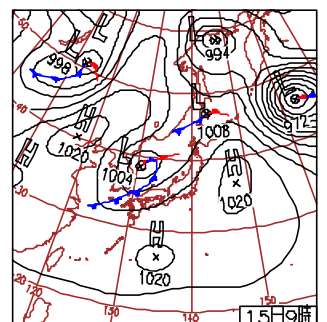
12日(土) 秋晴れ続く
日本のはるか東海上の高気圧に覆われ、西日本の一部を除き全国的に晴れ。朝は冷え込んだが、日中の気温は軒並み平年より高め。台風第22号は、硫黄島の東海上を北西進。



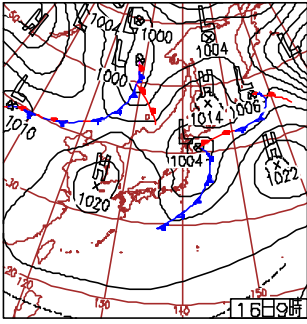
13日(日) 海難事故相次ぐ
全国的に晴れたが、太平洋側沿岸は台風第22号の影響で高波、海難事故相次ぐ。三重県志摩町沖で船が転覆、2人死亡1名行方不明。静岡県伊東市、熱海市などで人的被害。



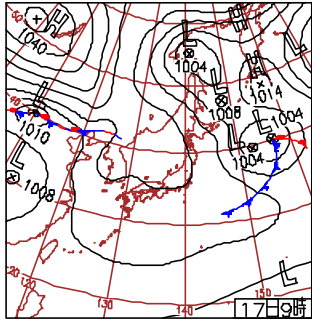
14日(月) 体育の日は晴れ
台風第22号から変わった低気圧が日本のはるか東海上を北上、日本海には高気圧が進み、全国的に秋晴れとなる。関東以西は夏日。夜、青森県で震度5弱の地震。



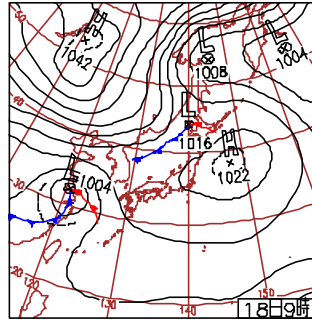
15日(火) 旭川で初霜、初氷
朝方は北日本で冷えたが、日中は各地で晴れ、延岡は最高気温30.2度の真夏日。しかし、前線の接近で西から次第に雨や雷雨に。豪州行きの航空機が強い乱気流に遭遇し12人けが。



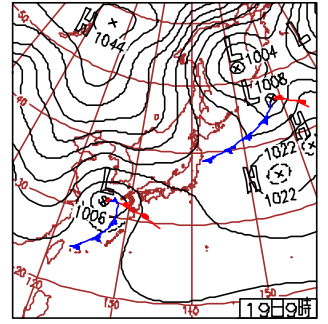
16日(水)不安定解消し秋晴れ
 上空寒気が去り高気圧が張り出す。北日本の一部を除き晴天、東京は最高気温27.1で3日連続の夏日。富山県立山、山梨県甲斐駒ヶ岳など本州中部山岳から初冠雪の便り。



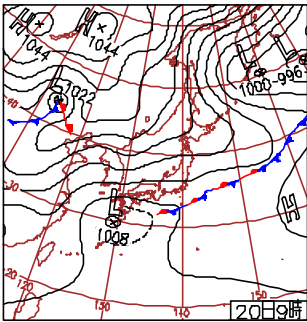
17日(木)夏日の最多記録
 日本付近は高気圧に覆われ、全国的に晴れ。気温も平年より2~4高めめで、関東以西は夏日。東京の夏日は10月に入って11日目、10月としての月間日数の記録を更新。



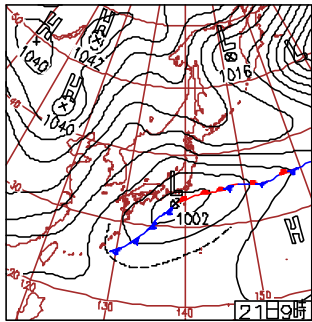
18日(金)関東に局地的な雨
 北海道と関東を除き概ね晴れ、2日続きの夏日の所も。一方、高気圧の後面となった関東地方には海上から雲域が北上し、南部の沿岸部を中心に予想外の雨で、問合せ電話多し。



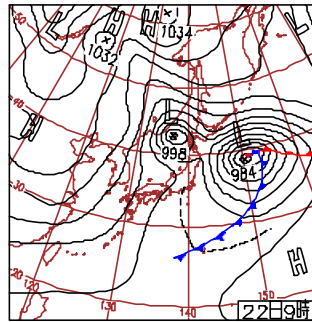
19日(土)西日本で局地的大雨
 北海道は晴れたが、東シナ海から低気圧が接近し、雨が九州から次第に中部地方まで広がる。長崎県福江市では1時間70mmを超える非常に強い雨を観測するなど、局地的な大雨。



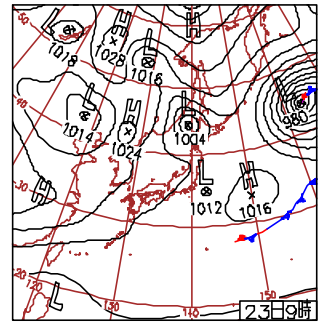
20日(日)寒波の走り、稚内初雪
 大陸に非常に冷たい高気圧。九州南西には動きの遅い低気圧、関東南岸へ前線が延びて各地は曇りや雨。北海道は晴れて下川町で最低気温-5.5。稚内で初雪を観測。



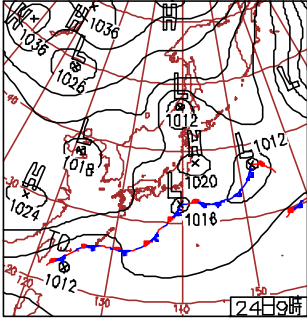
21日(月)低気圧が東進、発達
 本州南岸を低気圧が発達しながら東進。東・北日本では日中中心に雨。稚内・網走で初霜・初氷を観測。名古屋上空で航空機が乱気流に遭遇。



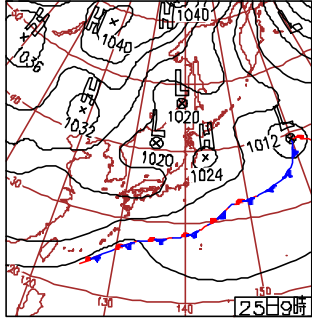
22日(火)手稲山・樽前山初冠雪
 北日本に寒気入り、北陸以北の日本海側では時雨、札幌・苫小牧で初冠雪を観測。東北の太平洋側も低気圧の影響で雨が続き、岩手県久慈市で昨日からの総雨量が200mmを超える。



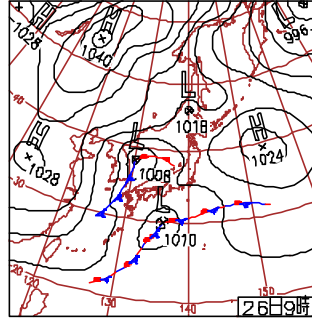
23日(水)温暖化防止会議
 低気圧の影響で、北海道は所々で雨、西海上は波高4m以上のシケ。東・西日本は曇りや晴れて、やや肌寒い天気。インド・ニューデリーで第8回温暖化防止会議開幕。



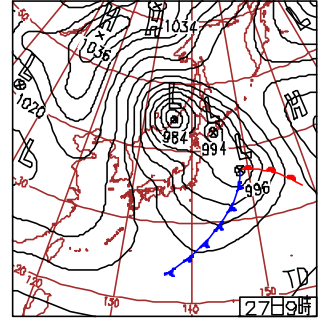
24日(木)大雨と初霜
 日本列島を挟んで低気圧や前線、熱帯低気圧も。北海道・関東・南西諸島は所々で雨、沖縄県渡嘉敷村は日雨量181mm。晴れた青森市では初霜を観測、岩木山の初冠雪も見えた。



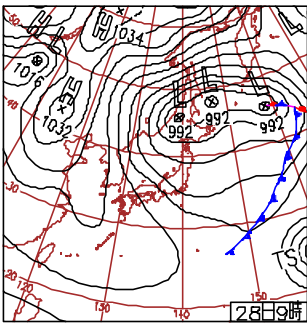
25日(金)札幌初霜、初氷
 北日本は気圧の谷の影響が残るが、本州は緩やかに高気圧圏内。このため、北海道や東北北部を除いて概ね晴れ、気温平年並。札幌の初霜・初氷もほぼ平年のペース。



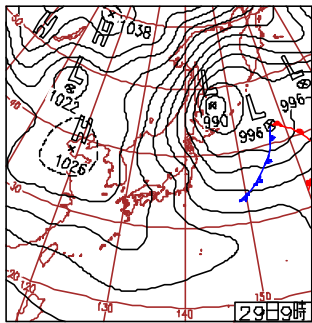
26日(土)二つ玉低気圧発達
 低気圧が日本海と日本の南を発達しながら北東進。全国的に曇りや雨となり一部で発雷。福島県若松で飯豊山の初冠雪を観測。「灯油安め、暖冬予想で需要低迷」の新聞報道。



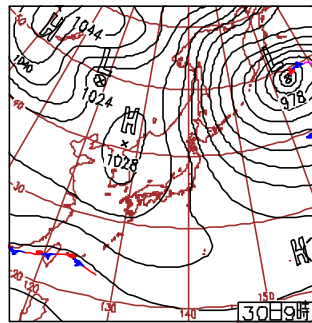
27日(日)近畿で木枯らし1号
 沿海州に発達した低気圧があり、大陸からは高気圧が張り出した。西日本は冬型の気圧配置となり、北西の季節風が吹いた。イタリア・シチリア島で10年ぶりにエトナ火山が噴火。



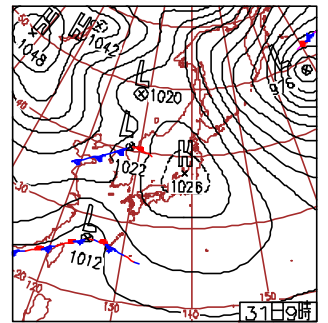
28日(月)各地で初雪
 オホーツク海方面の発達した低気圧により、北日本を中心に寒気が流入。全国的に冷え込む。寿都・若松・盛岡・松本で初雪。松本では統計開始以来最も早い。台風第23号発生。



29日(火)季節外れの寒波続く
 北日本上空に真冬並みの寒気が流入し、冬型の気圧配置強まる。高山・旭川・軽井沢で初雪。長野県大町市や白馬村で20cm近い降雪。関東は河口湖と軽井沢で今秋初めての冬日。



30日(水)札幌で初雪
 冬型の気圧配置が続き中国地方から北日本の日本海側では時雨やみぞれ、札幌では平年より3日遅い初雪。前線の影響で先島諸島で強い雨。石垣島で日雨量256mmを観測。



31日(木)肌寒い一日
 移動性高気圧の中心は東へ抜け、天気は下り坂。全国的に気温は終日低めで11月中旬並み。大船渡で初霜、浦河・長野で初霜・初氷。イタリア中南部で強い地震、死者20人以上。